

社会資本総合整備計画 事後評価

計画：福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現（防災・安全）

目次

資料 4－1	事後評価シート
資料 4－2	事後評価説明資料

令和 6 年 1 2 月
福岡市 道路下水道局
計画部 河川計画課

社会資本総合整備計画 事後評価

福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現
(防災・安全)

事後評価シート

令和 6 年12月
福岡県福岡市

事後評価シート

様式 1

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画名	福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現（防災・安全）		
交付期間	平成31年度～令和05年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業見込額	6,851百万円	国費率	33～50%

1) 事業の実施状況	計画に位置づけ実施した事業		事業名									
		基幹事業	河川事業 金屑川都市基盤河川改修事業、水崎川都市基盤河川改修事業、周船寺川都市基盤河川改修事業、那珂川流域貯留浸透事業、樋井川流域貯留浸透事業、特定構造物改築事業（吉塚新川排水機場）、特定構造物改築事業（上牟田川排水機場）、特定構造物改築事業（綿打川排水機場）、特定構造物改築事業（水崎川排水機場） 香椎川福岡都市圏域総流防事業、若久川福岡都市圏域総流防事業									
		関連事業	－									
		効果促進事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除／追加の理由			削除／追加による目標、指標、数値目標への影響			
		効果促進事業	－			－			－			
		新たに追加した事業	基幹事業							－		
			効果促進事業				－					
	交付期間の変更	当初	平成31年度～令和05年度		交付期間の変更による事業、指標、目標数値への影響			－				
		変更	－									
2) 社会資本総合整備計画に記載した評価の指標（定量的指標）の実現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	実績値	見込値	目標達成度	目標達成度○×の理由	
	指標 1	治水の根幹となる主要な河川における、浸水を防止するための整備状況	%	65	H31	75	R5	67	－	△	横断橋に対する安全性の追加調査、交通管理者等との協議による工事計画変更に伴う進捗の遅れ、及び住宅密集地における境界協議等の難航に伴う進捗の遅れなどにより、河川の整備延長が想定より伸びず目標達成には至らなかった。	
	指標 2	河川への雨水流出抑制に効果的な治水池の整備	m ³	11,490	H31	43,687	R5	16,790	－	△	整備内容について地元協議が難航したことや、工事等の入札不調により事業進捗が遅れたことなどから、計画期間内での事業の完了とならず目標達成には至らなかった。	
	指標 3	主要な河川管理施設において、長寿命化計画に基づく延命化措置を実施する施設数	%	75	H31	100	R5	100	－	○	計画的な事業の実施によって目標値を達成した。	

※指標改善への貢献度

○：評価値が目標値に達した場合

△：評価値が目標値には達していないものの、基準年度よりは改善していると認められる場合

3) 効果発現状況の整理	各指標の効果が得られた要因の整理（成果と実施過程の関係性の整理）	「指標3：長寿命化計画に基づく延命化措置を実施する施設数」 ・対象となる河川管理施設について計画的に延命化措置に順次取り組み、維持管理に多額の費用を要する河川管理施設について交付金や個別補助を活用し事業を実施することで、市民の安全・安心の確保に寄与した。					
	検討体制の整理	・本市では、公共事業再評価等監視委員会による事業評価システムを既に導入し、事業内容の評価及び検証を行っており、当事業についても当委員会による審議を行うこととしている。 ・計画の策定と事業実施、事業管理を行う部署を区分し、チェック体制の強化及び適切な事業推進体制を構築している。					
4) 実施過程の検証	モニタリングの実施状況	・指標の達成状況をモニタリングし、事業進捗との調整を行ってきた。 ・指標の中では、事業が大規模であることや市民の理解が必要なものが存在し、事業途中での進捗の改善が難しい部分もある。					
	住民参加プロセスの実施状況	・河川改修及び治水池の整備では、着手にあたり事業に対する住民理解を得られるよう、地元説明会を開催し、住民意見を反映しながら取り組んでいる。 ・河川改修を実施している周船寺小学校では毎年、河川事業の必要性や河川保全について、河川についての総合学習を実施している。					
	持続的な事業推進体制の構築	・本市では、公共事業再評価等監視委員会による事業評価システムを導入し、事業内容の評価及び検証を行っており、当事業についても当委員会による審議を継続して行うこととしている。 ・事業実施と事業管理、計画の申請手続を行う部署を区分し、今後もチェック体制の強化及び適切な事業推進体制を維持する。					
	パブリックコメントでの意見	－					
5) 今後の方策	課題	・今後も市街地での工事となり、現場条件の厳しい施工環境のもと実施するため、事業進捗への影響の可能性がある。 ・工事等の入札不調などにより、事業進捗に影響が出る可能性がある。 ・河川管理施設の必要性及び運用の方法について、再検討すべき施設がある。					
	今後の取り組み方針	・事業進捗管理を更に強化し、事業の進捗が遅れが生じた事業がある場合は、要因を分析し、早期完了を目指す。 ・市民との対話機会を増やすために、地域住民への説明や広報活動などを継続的に実施し、事業に対する市民の理解と協力が得られるよう取り組む。 ・施設の整備当初と比較し、下流河川の整備状況や周辺環境の変化等によりその機能の必要性について見直しを図るべき施設があることから、その結果を踏まえて長寿命化計画の策定を行っていく。					
6) 次期計画への指標の継続性	次期計画の名称 計画期間	福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現（防災・安全）（4期計画） 令和6年度～令和10年度（5年間）					
	現在設定している指標	既に事業実施中のため、以下の指標を設定している。 ①治水の根幹となる主要な河川における、浸水を防止するための整備状況 ②河川への雨水流出抑制に効果的な治水池の整備数					
	指標に対する検討事項	・市民の理解・協力の意識向上に関しては、積極的に事業PRを行うことで市民の興味を集め、対話機会を増やし、改善に努める。					

要素事業と指標との関係

A. 基幹事業

番号	事業種別	事業及び施設種別	要素となる事業名 (事業個所)	事業内容	指標改善への貢献度		
					指標 1	指標 2	指標 3
A03河川事業							
A03-001	河川	都市基盤2	金屑川都市基盤河川改修事業	L=470m、護岸、掘削、橋梁	○		
A03-002	河川	都市基盤2	水崎川都市基盤河川改修事業	L=12m、護岸、橋梁、L=4000m 堤体補強	○		
A03-003	河川	都市基盤2	周船寺川都市基盤河川改修事業	L=232m、護岸、橋梁、堰	○		
A03-004	河川	流域貯留2	那珂川流域貯留浸透事業	治水池整備		○	
A03-005	河川	流域貯留2	樋井川流域貯留浸透事業	治水池整備		○	
A03-006	河川	特構2	特定構造物改築事業（吉塚新川排水機場）	延命化措置			○
A03-007	河川	特構2	特定構造物改築事業（上牟田川排水機場）	延命化措置			○
A03-008	河川	特構2	特定構造物改築事業（綿打川排水機場）	延命化措置			○
A03-009	河川	特構2	特定構造物改築事業（水崎川排水機場）	延命化措置			○
A03-010	河川	準用	香椎川福岡都市圏総流防事業	L=710m、地下河川	○		
A2-1-10	河川	準用	若久川福岡都市圏総流防事業	L=235m、護岸、橋梁	○		

福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現

主要施策	事業内容
河川改修 河川の治水安全度の向上を図るため、主要な河川において河川改修工事を実施。 また、過去の被害により大きな被害が発生した那珂川流域の総合治水対策として、治水池整備を実施。 【主な事業】 ○金屑川都市基盤河川改修事業 ○水崎川都市基盤河川改修事業 ○周船寺川都市基盤河川改修事業 ○那珂川流域貯留浸透事業 ○樋井川流域貯留浸透事業 など	標準横断面図(周船寺川) 改修後の周船寺川 改修前の周船寺川 河床が約1.3m低下 周船寺川 改修前 周船寺川 改修後 コウザイ池 整備前 コウザイ池 整備後 オリフィスの改良 洪水吐の改良

事業実施期間

様式3

A03 河川事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					備考
											H31	R2	R3	R4	R5	
A03-001	河川	一般	福岡市	直接	-	都市基盤2	-	金脣川都市基盤河川改修事業	L=470m、護岸、掘削、橋梁	福岡市						
A03-002	河川	一般	福岡市	直接	-	都市基盤2	-	水崎川都市基盤河川改修事業	L=12m、護岸、橋梁、L=4000m 堤体補強	福岡市						
A03-003	河川	一般	福岡市	直接	-	都市基盤2	-	周船寺川都市基盤河川改修事業	L=232m、護岸、橋梁、堰	福岡市						
A03-004	河川	一般	福岡市	直接	-	流貯（2）	-	那珂川流域貯留浸透事業	治水池整備	福岡市						
A03-005	河川	一般	福岡市	直接	-	流貯（2）	-	樋井川流域貯留浸透事業	治水池整備	福岡市						
A03-006	河川	一般	福岡市	直接	-	特構（2）	-	特定構造物改築事業（吉塚新川排水機場）	延命化措置	福岡市						
A03-007	河川	一般	福岡市	直接	-	特構（2）	-	特定構造物改築事業（上牟田川排水機場）	延命化措置	福岡市						
A03-008	河川	一般	福岡市	直接	-	特構（2）	-	特定構造物改築事業（錦打川排水機場）	延命化措置	福岡市						
A03-009	河川	一般	福岡市	直接	-	特構（2）	-	特定構造物改築事業（水崎川排水機場）	延命化措置	福岡市						
A03-010	河川	一般	福岡市	直接	-	準用	-	香椎川福岡都市圏域総流防事業	L=710m、地下河川	福岡市						
A03-011	河川	一般	福岡市	直接	-	準用	-	若久川福岡都市圏域総流防事業	L=235m、護岸、橋梁	福岡市						
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	市町村名	事業実施期間（年度）					備考
											H31	R2	R3	R4	R5	
C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	市町村名	事業実施期間（年度）					備考
											H31	R2	R3	R4	R5	

社会資本総合整備計画について

(河川事業)

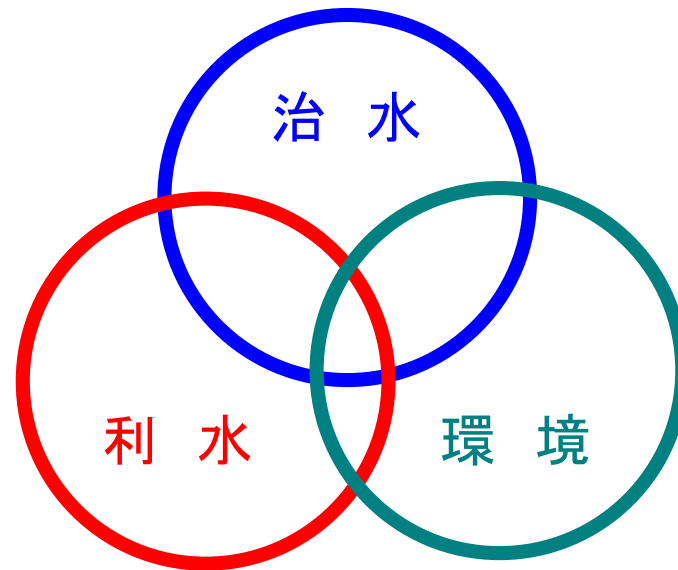
福岡市 道路下水道局 計画部
河川計画課

1. 福岡市の河川事業について
2. 社会資本総合整備計画の内容と主要施策
3. 要素事業の進捗状況
4. 指標の達成状況
5. 指標の分析と今後の方針

1. 福岡市の河川事業について

本市では、「治水・利水・環境」の三つの機能が共存できる川づくりを目指しており、河川事業として、災害に強い都市づくりを推進し、快適な都市空間を形成するため、治水対策ならびに河川環境整備に取り組んでいる。

洪水、高潮その他の異常な天然現象から発生する災害を防止する。



上水道や工業用水道、農業用水として、貴重な水源となっている。

都市の中に水や緑を生かし、快適な都市空間を創造する。

平成9年の河川法改正により、「治水・利水」に重点を置いた河川の役割に、「河川環境の整備と保全」が追加

1. 福岡市の河川事業について

福岡市の河川

令和6年度4月時点

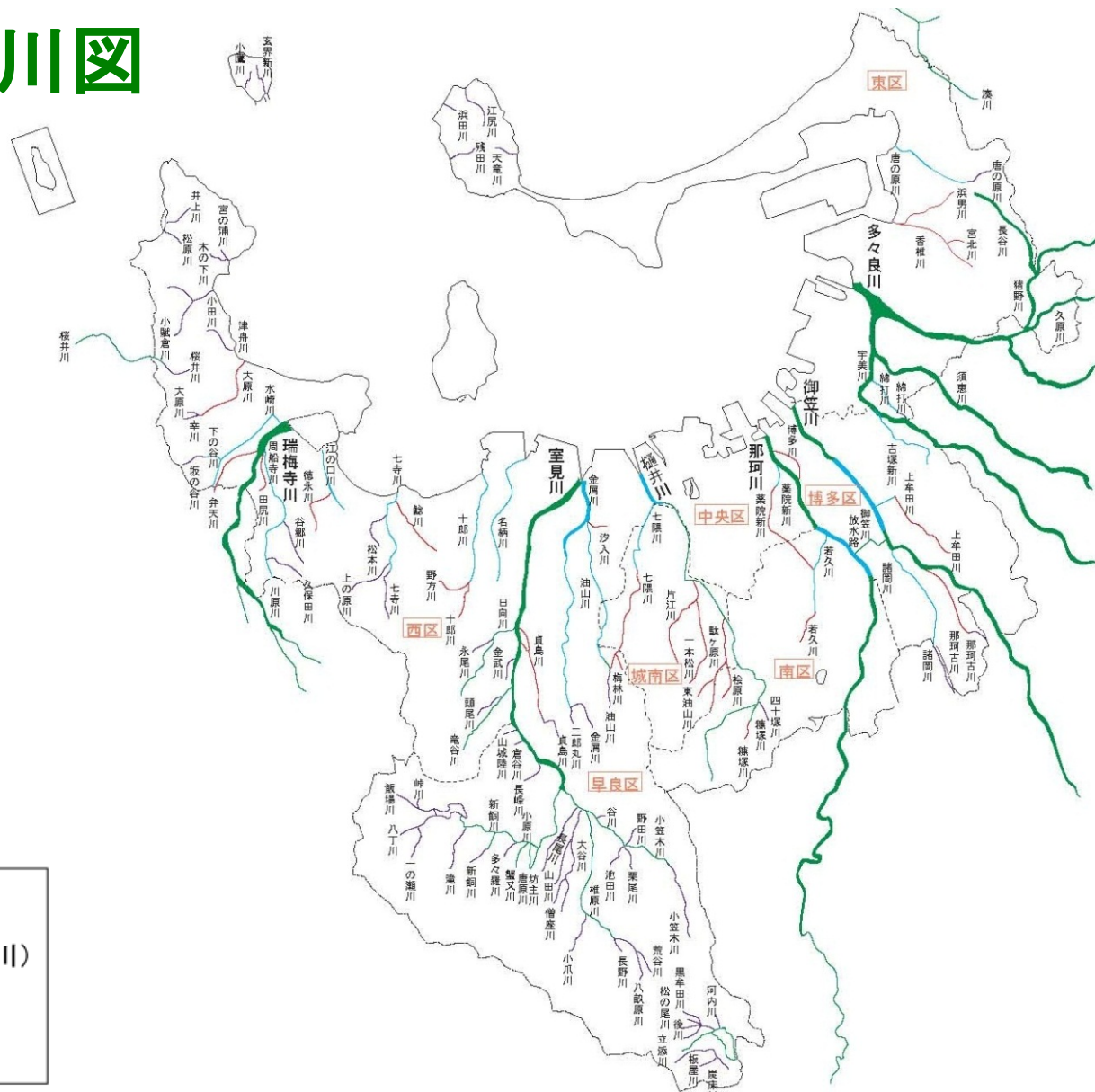
区分		説明	河川管理者	水系数	河川数	市内流路 延長 (km)	R5年度 末 改修率
一級河川(指定区間)		国土保全上又は国民経済上特に重要な水系で政令で指定したものに係る河川で、国土交通大臣が指定	国土交通大臣 (県知事)	-	-	-	
二級河川		一級河川以外で公共の利害に重要な関係があるものに係る河川で、都道府県知事が指定	県知事	13	42	143	
うち 都市基盤河川		本来、県が整備すべき二級河川において、きめ細かい治水対策を進めるために、本市が主体となって改良工事を実施する河川		(11)	(20)	(54)	92.1
うち 格上げ二級河川		都市基盤河川事業として市で整備を行うために二級河川へ格上げた河川であり、維持修繕も市で行う河川		(9)	(13)	(29)	
準用河川		一級河川及び二級河川以外の河川で市町村長が指定	市長	10 〈2〉	25	50	78.5
普通河川		一級河川、二級河川及び準用河川以外の河川で市町村長が指定	市長	21 〈11〉	64	65	64.0
計				26 【24】	131 【109】	258 【169】	77.9

福岡市に
一級河川は
ない

福岡市の
河川事業で
取り扱う

1. 福岡市の河川事業について

福岡市の河川図



凡例

- 二級河川
- 二級河川(都市基盤河川)
- 準用河川
- 普通河川

1. 福岡市の河川事業について

- 河川改修については、国の交付金制度を活用し治水対策事業として、**「都市基盤河川改修事業」**及び**「準用河川改修事業」**を実施
- 都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金事業）の一環として河川の環境整備を実施
- また、市の単独事業としても、準用河川及び普通河川の局部的改良等を実施

■河川改修状況（※改修延長には暫定改修含む）

区分			令和5年度末	
	河川数	総延長 (m)	改修延長 (m)	改修率 (%)
都市基盤河川	20	54,230	49,923	92.1
準用河川	25	49,670	39,001	78.5
普通河川	64	64,850	42,472	64.0
計	109	168,750	131,396	77.9

■河川改修事業

区分	事業名	整備計画対象	備考
交付金事業	都市基盤河川改修事業	○	治水対策
	準用河川改修事業	○	〃
	都市再生整備計画事業		環境整備
単独事業	河川水路改良事業		治水対策
	局地的豪雨対策緊急事業		〃

都市基盤河川改修事業（周船寺川）



1. 福岡市の河川事業について

- 近年、局地的・記録的豪雨が頻発する気象状況や都市化の進展により保水機能が低下
- 河川改修と併せ、河川流域の保水能力向上を図るため、かんがい用途の無くなった農業用ため池のうち、洪水調節効果のあるため池を治水池として活用するために再整備
- また、那珂川・樋井川流域における既存治水池について、治水池の貯留能力の向上を図る整備を実施中

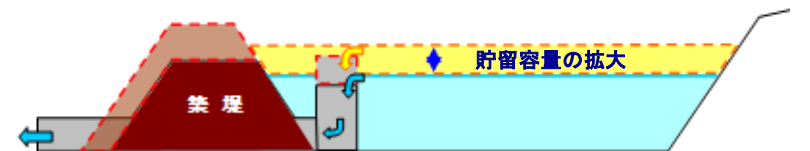
■治水池の概要

令和6年4月現在

区分	市全体	東	博多	中央	南	城南	早良	西
箇所数	69	13	10	2	21	9	4	10
面積 (m ²)	309,097	39,488	36,844	11,024	132,021	46,512	4,803	38,045
調節容量 (m ³)	556,608	80,831	51,231	17,150	241,743	59,681	13,990	91,982

■治水池事業

区分	事業名	整備計画対象	備考
交付金事業	流域貯留浸透事業	○	治水対策
単独事業	雨水貯留施設整備事業		〃
	治水池環境整備事業		環境整備



治水池整備のイメージ

1. 福岡市の河川事業について

- 河川管理施設（排水機場等）の老朽化に伴う更新費用の増大に対し、施設の延命化対策を計画的に行うことにより、施設更新費用の縮減、ライフサイクルコストの平準化を図るため、平成26年度より国の交付金制度を活用した**特定構造物改築事業**に着手
- 市の単独事業と合わせ河川全般における計画的な維持・修繕を実施中

■河川管理施設

令和6年4月現在

区分	排水機場	水門	堰	遊水地	排水ポンプ	その他
施設数	5	6	6	1	4	3

■アセットマネジメントに関する事業

区分	事業名	整備計画対象	備考
個別補助事業	河川メンテナンス事業 (旧特定構造物改築事業)	○	治水対策
単独事業	アセットマネジメント事業		//

上牟田川排水機場（博多区）



1. 福岡市の河川事業について
- 2. 社会資本総合整備計画の内容と主要施策**
3. 要素事業の進捗状況
4. 指標の達成状況
5. 指標の分析と今後の方針

2. 社会資本総合整備計画の内容と主要施策

整備計画Ⅰ『福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現』（防災・安全）

目 標	河川整備により、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する
事業規模	期間：平成31年度～令和5年度 事業費：約6,851百万円（基幹6,851百万円）

社会資本総合整備計画と対象となる河川事業

河川事業	・ <u>都市基盤河川改修事業</u> 金屑川（早良区） 周船寺川（西区） 水崎川（西区） ・ 総合流域防災事業（<u>準用河川改修事業</u>） 若久川（南区） 香椎川（東区） ・ <u>流域貯留浸透事業</u> 那珂川流域における治水池、樋井川流域における治水池 ・ <u>特定構造物改築事業（R4～河川メンテナンス事業）</u> 吉塚新川（博多区） 上牟田川（博多区） 綿打川（博多区） 水崎川（西区）
------	--

2. 社会資本総合整備計画の内容と主要施策

整備計画Ⅰ『福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現』（防災・安全）

指標一覧

指 標	従前値		目標値		指標設定の考え方
		基準 年度		目標 年度	
①治水の根幹となる主要な河川における、浸水を防止するための整備状況	65%	H31	75%	R5	年度末時点河川整備済み延長 ／整備すべき河川延長
②河川への雨水流出抑制に効果的な治水池の整備	11,490m ³	H31	43,687m ³	R5	治水池の貯留量
③主要な河川管理施設において、長寿命化計画に基づく延命化措置を実施する施設数	75% (3箇所)	H31	100% (4箇所)	R5	長寿命化計画策定済みの河川管理施設（箇所） ／長寿命化計画を策定すべき河川管理施設（箇所）

1. 福岡市の河川事業について
2. 社会資本総合整備計画の内容と主要施策
- 3. 要素事業の進捗状況**
4. 指標の達成状況
5. 指標の分析と今後の方針

3. 要素事業の進捗状況

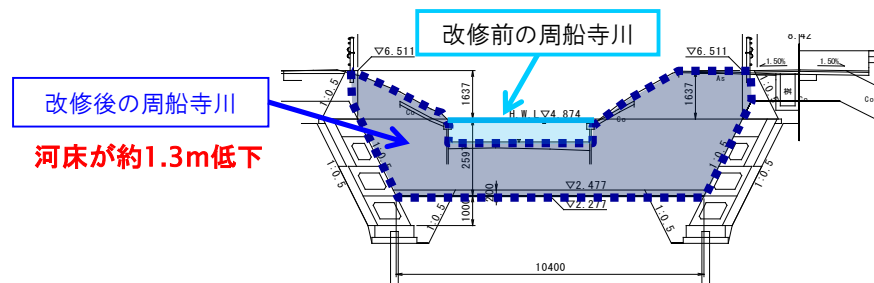
①治水の根幹となる主要な河川における、浸水を防止するための整備状況

都市基盤河川改修事業

例：周船寺川



標準横断図

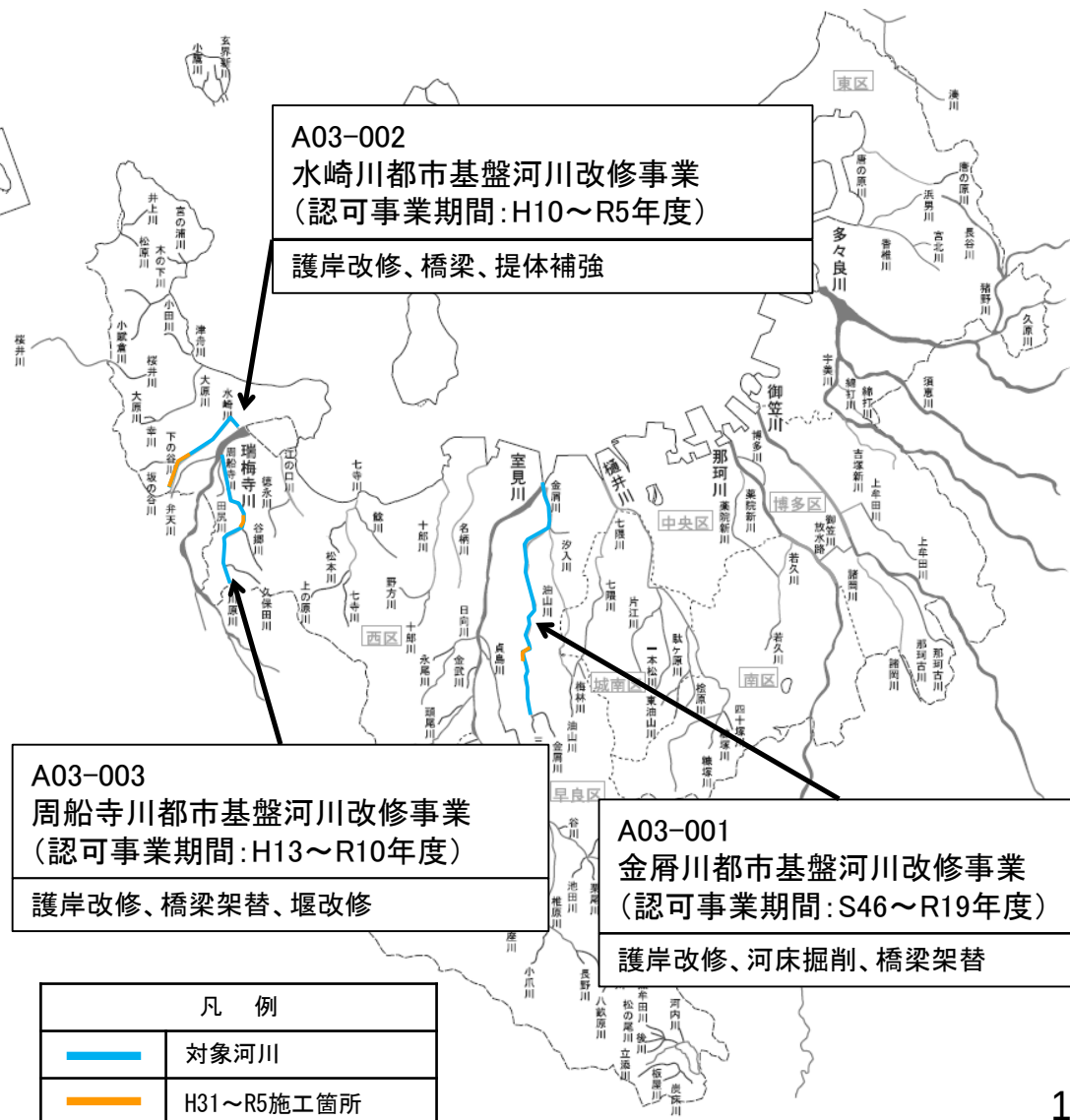


参考

総合学習の様子



周船寺小学校で毎年河川の総合学習を実施

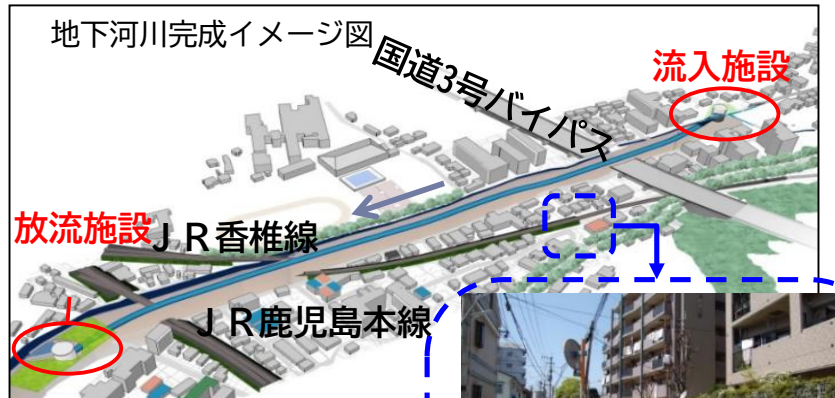


3. 要素事業の進捗状況

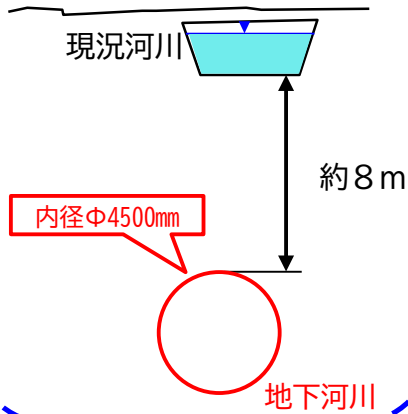
①治水の根幹となる主要な河川における、浸水を防止するための整備状況

総合流域防災事業(準用河川改修事業)

例: 香椎川



氾濫状況 (H11)



A08-010

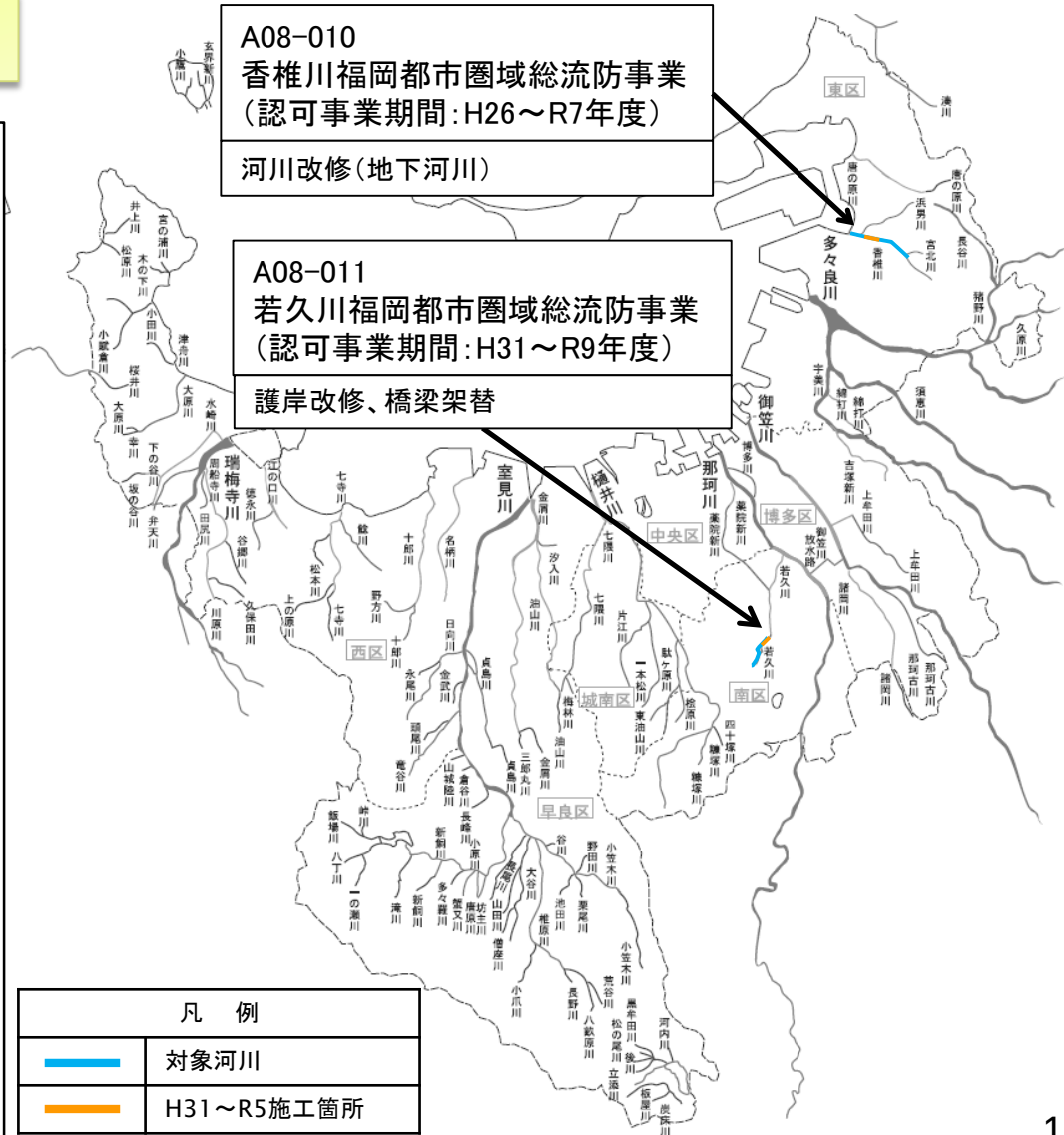
香椎川福岡都市圏域総流防事業
(認可事業期間: H26~R7年度)

河川改修(地下河川)

A08-011

若久川福岡都市圏域総流防事業
(認可事業期間: H31~R9年度)

護岸改修、橋梁架替



4. 要素事業の進捗状況

②河川への雨水流出抑制に効果的な治水地の整備

流域貯留浸透事業

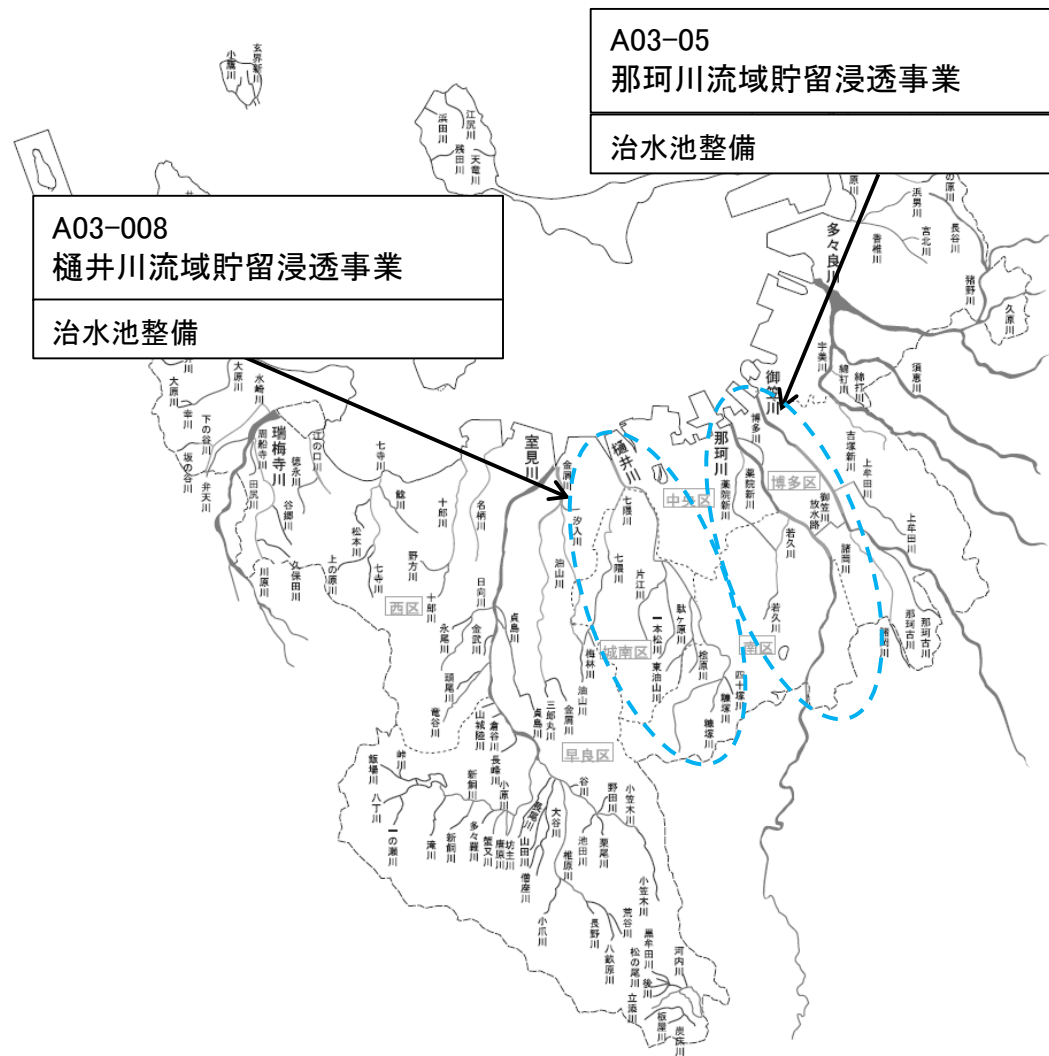
例:コウザイ池(那珂川水系)



オリフィスの改良



洪水吐の改良

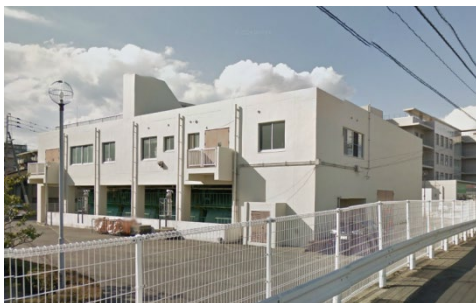


4. 要素事業の進捗状況

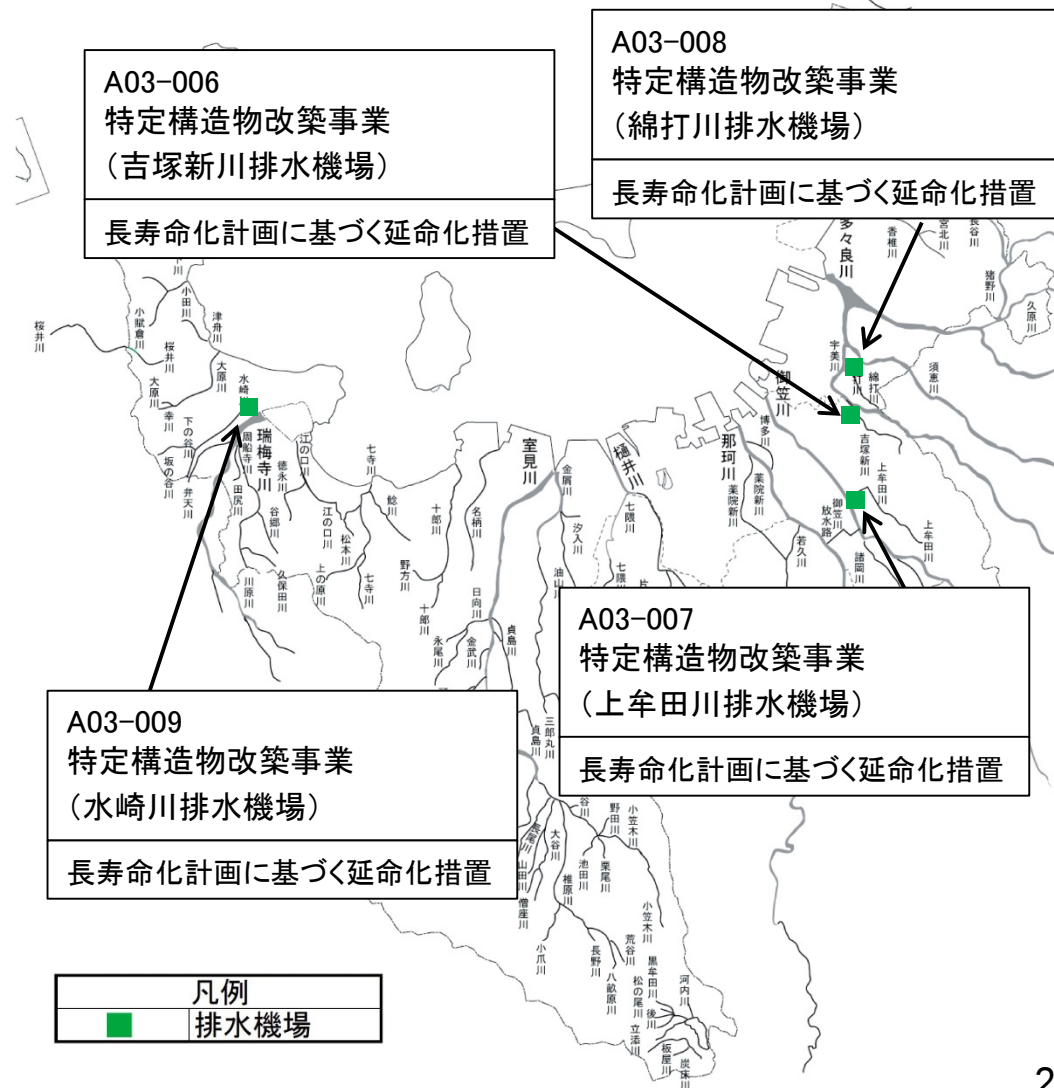
③主要な河川管理施設において、長寿命化計画に基づく延命化措置を実施

特定構造物改築事業

例：吉塚新川排水機場



例：上牟田川排水機場



1. 福岡市の河川事業について
2. 社会資本総合整備計画の内容と主要施策
3. 要素事業の進捗状況
- 4. 指標の達成状況**
5. 指標の分析と今後の方針

4. 指標の達成状況

整備計画Ⅰ『福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現』（防災・安全）

目標値達成状況

指 標	従前値	基準 年度	目標値	目標 年度	評価値	目標 年度	達成度
①治水の根幹となる主要な河川における、浸水を防止するための整備状況	65%	H31	75%	R5	67%	R5	△
②河川への雨水流出抑制に効果的な治水池の整備	11,490m ³	H31	43,687m ³	R5	16,790m ³	R5	△
③主要な河川管理施設において、長寿命化計画に基づく延命化措置を実施する施設数	75%	H31	100%	R5	100%	R5	○

1. 福岡市の河川事業について
2. 社会資本総合整備計画の内容と主要施策
3. 要素事業の進捗状況
4. 指標の達成状況
5. 指標の分析と今後の方針

5. 指標の分析と今後の方針

①治水の根幹となる主要な河川における、浸水を防止するための整備状況

従前値H31年：65% ⇒ 目標値R5年：75% (評価値：67%)
達成度：△

目標が達成できなかった 要因や課題

横断橋に対する安全性の追加調査、交通管理者等との協議による工事計画変更に伴う進捗の遅れ、及び住宅密集地における境界協議等の難航に伴う進捗の遅れなどにより、河川の整備延長が想定より伸びず、目標達成には至らなかった。

今後の方針

市民との対話機会を増やすために、引き続き、地域住民への説明や広報活動などを継続的に実施し、事業に対する市民の理解と協力が得られるよう取り組む。

5. 指標の分析と今後の方針

②河川への雨水流出抑制に効果的な治水池の整備

従前値H31年：11,490m³ ⇒ 目標値R5年：43,687m³ （評価値：16,790m³）

達成度： △

目標が達成 できなかった 要因や課題

整備内容について地元協議が難航したことや、工事等の入札不調により事業進捗が遅れたことなどから、計画期間内での事業の完了とならず目標達成には至らなかった。

今後の方針

治水池の整備にあたっては、引き続き、地域住民の理解を得るための説明会や、事業に遅れが生じないよう適切な発注方法の検討等を実施し、事業の進捗を図る。

5. 指標の分析と今後の方針

③主要な河川管理施設において、長寿命化計画に基づく延命化措置を実施する施設数

従前値H31年：75%（3箇所） ⇒ 目標値R5年：100%（4箇所） （評価値：100%）
達成度： ○

目標を達成できた要因	計画的な事業の実施によって、目標値を達成した。
今後の方針	施設の整備当初と比較し、下流河川の整備状況や周辺環境の変化等によりその機能の必要性について見直しを図るべき施設があることから、その結果を踏まえて長寿命化計画の策定を行っていく。